

【参考】海外におけるオフセット契約モデルの状況について

1. Springer

Springer Compact

OA 出版料（APC）と購読料を一括で支払うゴールド OA 推進モデル。

ハイブリッド型 OA 誌（約 1,600 誌）での OA 出版権と，SpringerLink へのアクセス権（約 2,000 誌）を提供。APC と購読料を合わせた「Total cost of publication」の減額につながるかとされている。また，機関では購読誌の管理が不要となる。

- 1) オランダ：Association of Universities in the Netherlands（VSNU）。オランダ国内の公的資金援助を得る 14 の研究大学で構成されている。科学の Output を 2019 年までに 60%，2025 年までに 100%OA にするという国の方針のもとで推進されている。
- 2) オーストリア：2016-2018 年のパイロット。Austrian Academic Library Consortium のうち 34 機関が参加。約 2,000 誌の購読費と 3,650 件分の APC を合わせたモデル。コンソーシアムと Austrian Science Fund が協力して導入。
- 3) イギリス：Jisc。2015-2018 年のパイロット。イングランド高等教育助成会議（HEFCE）のフレームワーク，RCUK や助成機関の OA 方針に対応したモデル。
- 4) ドイツ：Max Planck Society。2015 年 11 月から導入開始。

2. IOP (Institute of Physics)

APC の支払額を翌年の購読費から差し引くモデル。

- 1) オーストリア：2014-2016 年のパイロット。コンソーシアムが購読費を負担し，Austrian Science Fund が APC を負担する。
- 2) イギリス：22 大学と 3 年間のパイロットを実施中。購読誌の APC の最大 90%分を翌年の購読費から差し引く。フル OA 誌へ支払われた APC は対象外。

3. Taylor & Francis

- 1) オーストリア：2014-2016 年のパイロット。IOP と同じ枠組み。2015 年は全体で約 21,000 ユーロを相殺できた。
- 2) イギリス：Jisc。2015-2017 年のパイロット。機関の購読費に応じ，APC を 75%割引するバウチャーを発行。

4. Wiley

- 1) イギリス：Jisc。2015-2017 年のパイロット。APC の支払額に応じ，翌年の APC 支払に充当できる還付金が支払われるモデル。

以上